

1市の概要（H30年度）

| | |
|-----|---------|
| 人口 | 52,778人 |
| 保護率 | 1.5% |

2支援状況調査（H30年度）

| | |
|----------------------------|------|
| 新規相談受付件数人口10万人当たり(件) 一月当たり | 32.8 |
| プラン作成件数人口10万人当たり(件) 一月当たり | 4.7 |
| 就労支援対象者数人口10万人当たり(件) 一月当たり | 2.4 |
| 就労・増収率(%) | 80.0 |

3実施方法について

| | |
|---------|--|
| 実施方法 | 委託（委託先：宮古市社会福祉協議会）、単年・随意契約 |
| 事業費 | 13,972千円 |
| 理由（委託） | 地域に根差した活動を長年行っていること、生活福祉資金貸付事業の実施により低所得世帯の事情に通じていること、また、東日本大震災被災者訪問やコミュニティ構築活動を行っており地域住民からの信頼も厚く、困りごとを抱える世帯への支援が期待できるため。 |
| 課題・対応 | <ul style="list-style-type: none"> 現在の宮古市は宮古市、田老町、新里村、川井村が合併してきている。面積が1,259km²と広いため、旧町村部へのアウトリーチが課題。 課題が複合的かつ複雑な世帯が多く、支援に時間を要する。 課題の背景として孤立や幼少期の生活課題があることが多く、自己肯定感の向上を図ることに苦慮する。 |
| 事業概要 | <ul style="list-style-type: none"> 宮古駅から徒歩3分、商店街に「くらしネットみやこ相談室」として事務所・窓口を設置、時間外の対応は「よりそいホットライン」が対応。 市民が「お茶っこ」をしながら気軽に相談できる。 主任相談支援員1名、相談支援員2名（就労支援員兼務）、就労支援員4名、家計改善支援員1名を配置 |
| その他特記事項 | 支援調整会議を月1回開催。ハローワーク、救護施設、障害者就業・生活支援センター、地域包括支援センター等関係機関担当者が出席。また、事例検討会を年3回実施。 |

4事業実績（H30年度）

| 新規相談受付件数 | プラン作成件数 | 就労支援対象者数 | 就労者数 | 増収者数 |
|----------|---------|----------|------|------|
| 208人 | 30人 | 15人 | 18人 | 15人 |

5事業実施のポイント

○事業の周知
チラシを新たに作成。相談につながる方々が多い窓口を設置。

○就労準備支援事業との連携
8050問題等、高齢者世帯からの無就業者の相談が地域包括支援センターを通じて寄せられる。就労準備支援事業との連携により対応。

○関係機関との連携強化
行政（生活保護・介護保険等）・社会福祉法人（介護・障害・救護施設）・ハローワーク等との連携を強化するため年3回事例検討会を開催。



6取り組んで良かったこと

・関係機関との連携・適切な役割分担

高齢者を中心とした転居やサービス利用に向けた保証人の課題、高齢者世帯に属する無就業者の課題等、地域課題を支援調整会議の場を活用して提案している。これにより多くの機関から相談がつながり、事業実績が増加している。また、適切な役割分担と連絡調整ができています。